

No.23
奇数月1日発行



平成28年9月 広報さーくる

- 内容
- ・住居確保給付金について
 - ・お知らせ
 - ・さーくる発（就労準備）
 - ・あしたのここみん
 - ・ご報告
 - ・編集後記

「住居確保給付金について」 船橋市地域福祉課



住居確保給付金とは、離職または自営業の廃止により、経済的に困窮し、住居を喪失した方又は住居を喪失するおそれのある方を対象として、家賃額（上限あり）を支給するとともに、住居確保給付金窓口または自立相談支援機関である「さーくる」による就労支援等を実施し、住居及び就労機会の確保に向けた支援を行います。

平成27年度は生活支援課にて業務を実施していましたが、平成28年度からは地域福祉課に業務が移管され、船橋市役所分庁舎2階にて窓口業務を行っています。

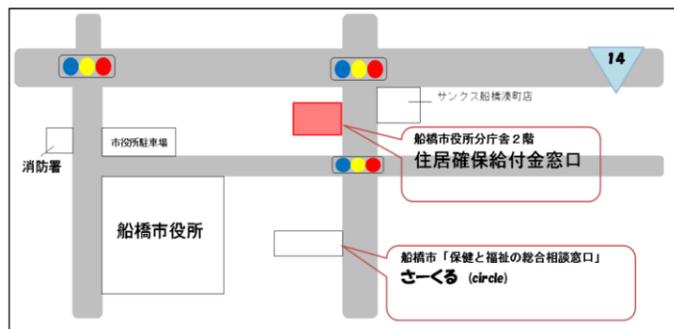
住居確保給付金を受けるには、最初に「さーくる」で対象者に対し自立支援計画（以下プランとする。）を作成します。住居確保給付金の利用のプランが作成された後、住居確保給付金窓口にて申請手続きを行います。その際、申請時に以下の①～⑧のいずれにも該当する必要があります。

- ① 離職等により経済的に困窮し、住居喪失者又は住居喪失のおそれがある。
- ② 申請日において、65歳未満であって、かつ、離職等の日から2年以内である。
- ③ 離職等の前に、主たる生計維持者であった（離職前には主たる生計維持者ではなかったが、その後離婚等により、申請時には主たる生計維持者となっている場合も含む）。
- ④ 申請日の属する月の、申請者及び申請者と同一の世帯に属する者の収入の合計額が収入基準額以下であること。
 （例）世帯人数1人：収入基準額＝8.4万円（基準額）＋家賃額
 世帯人数2人：収入基準額＝13万円（基準額）＋家賃額
- ⑤ 申請日において、申請者及び申請者と同一の世帯に属する者の所有する金融資産の合計額が基準額×6（ただし、100万円を超えないものとする）以下であること。
- ⑥ ハローワークに求職の申込みをし、誠実かつ熱心に常用就職を目指した求職活動を行うこと。
- ⑦ 国の雇用施策による貸付（職業訓練受講給付金）及び地方自治体等が実施する類似の給付等を、申請者及び申請者と同一の世帯に属する者が受けていないこと。
- ⑧ 申請者及び申請者と同一の世帯に属する者のいずれもが暴力団員でないこと。

住居確保給付金の支給期間は原則3か月ですが、受給期間が終了する際に、一定の要件を満たしていれば、3か月間を2回まで延長することが可能です。

住居確保給付金を利用するためには、「さーくる」でプラン決定する必要があります。住居確保給付金の利用を考えている方がいらっしゃいましたら、まずは「さーくる」までご連絡ください。離職している方が、より安心して求職活動に取り組めるように、この制度を利用していただければと思います。

（文責：地域福祉課）



住居確保給付金窓口周辺地図

お知らせ

☆お知らせコーナーへ掲載を希望される団体は「さーくる（circle）」までご連絡ください。
TEL047-495-7111 FAX 047-435-7100

講演名	日時	場所	費用	申込み	問い合わせ他
平成28年度 第2回 地域連絡調整会議	南部：平成28年9月6日（火） 14時～16時	宮本公民館講堂	無料 あらかじめ、市内関係者・機関の方々にご案内をさせていただきます。	8月26日（金）までに FAX にてお申し込みをいただきました。	主催・問い合わせ先： 船橋市「保健と福祉の総合相談窓口」さーくる（circle） TEL:047-495-7111 FAX:047-435-7100
	北部：平成28年9月7日（水） 14時～16時	北部公民館講堂			
	西部：平成28年9月15日（木） 14時～16時	塚田公民館講堂			
	東部：平成28年9月20日（火） 14時～16時	三山市民センター 多目的ホール			
	中部：平成28年9月21日（水） 14時～16時	新高根公民館講堂			

さーくる 発！ ～就労準備支援事業～

こんにちは。今回の就労準備支援事業コーナーでは、「ここみん」をご紹介します。

就労準備支援事業では、さーくる内の一室に集まってグループワークやセミナーを行ったり、外へ出て企業見学を行ったりと様々な就労支援をしております。そういった活動のことを「こころのいずみ」と呼んでいます。

この度、「こころのいずみ」に通っているWさんが、イメージキャラクターを作ってくださいました。名前は「ここみん」。下のイラストが、そのキャラクターです。Wさんは、「ここみん」について、『花の冠（輪）を見ている人に差し出すイメージ』『友好的なイメージ』と説明しています。

また、「こころのいずみ」では、就労準備を経て就労に至ったOB・OGのみなさんから体験談を話していただくような機会も設けています。Wさんがその体験談を元に「あしたのここみん」というタイトルで4コマ漫画を描いてくださいましたので、合わせてご紹介したいと思います。

モデルとなったOB・OGのみなさんに喜んでいただき、Wさんの創作意欲はますます高まっています。広報さーくるを読んで下さる皆様に、就労準備支援事業の活動のことをより知っていただく機会のひとつになればと思い、今後連載予定です。どうぞご期待ください！



ご報告①

ミドル～シニア世代のための就職相談・面接会
「生きがいをもって働きたい！」を応援します！

7月7日に【ミドル～シニア世代のための就職相談・面接会「生きがいをもって働きたい！」を応援します！】を開催し、多くの求職者の方にも参加していただき、盛況のうちに終了いたしました。

共催として、船橋市・ハローワーク船橋・公益財団法人船橋市生きがい福祉事業団・社会福祉法人生活クラブ（さーくる受託法人）が実施し、経済的に困窮している方の雇用に積極的な10事業所に参加していただきました。

参加事業所の方には求人内容や求職者への配慮事項などのプレゼンをしてもらい、事業所の“売り”をアピールしていただいたうえで積極的な採用活動をしていただいております。

面接会での一場面では、「病気をして今まで療養中だったけど、これからは元気に働ける。しかしプランクがあって採用にならない」というような求職者もおられました。このような場合、採用時には病気とプランクが懸念される事項となりますが、今回の面接会ではそこも含めて相談ができる機会となりました。困窮状態になるということは、働けない何らかの事情がある場合も多くあります。それを理解して、今回の就職相談面接会に参加していただいた事業所の方々には大変感謝いたします。

参加事業所は、船橋市に住所があるところが殆どでした。求職者の多くも船橋市民です。今回の面接会を通して「船橋地域の雇用を通しての助け合い」を垣間見ることが出来たと思っております。

今後も、様々な方の就労支援と生活支援を積極的に実施して参りたいと思っております。

皆様のご協力に感謝しつつ…これからのさーくるを楽しみにしててください！



中核地域支援センター大会 2016

ご報告②

自立を育む地域社会を考える

～子どもたち・若者たちの声、聞こえていますか？～

「中核地域生活支援センター大会」が、平成28年7月11日、千葉市生涯学習センター（2階ホール）にて開催されました。

平成26年に策定された「子供の貧困対策に関する大綱」の中に、「子どもたちの将来が生まれ育った環境で左右されることのないよう、貧困が世代を超えて連鎖することのないよう、すべての子どもたちが夢と希望をもって成長していける社会の実現をめざして総合的な施策の推進をめざすこと」とあります。こうした理念を達成するにはどうしたらよいか、必要な支援のあり方について考える機会となりました。

午前の基調講演では、北海道の生きづらさを抱えた若者の自助グループ「Frame Free Project フレーム・フリー・プロジェクト」から、活動をサポートしている日置真世さんと、実際に利用している7名の若者たちが登壇し、意見交換を行いました。若者たちが、子ども時代から今まで、支援を受ける中で感じてきたこと、支援者が何気なく発した言葉に傷ついたことなど、その立場でしか語ることでできない生きた言葉を聞くことができました。

午後のシンポジウムでは、パネリストに市川こども食堂ネットワーク副代表の梅澤岳さん、生活クラブ風の村はぐくみの杜君津施設長の高橋克己さん、千葉県立障害者高等技術専門校主査の石川豪志さんにご登壇いただき、それぞれ子ども・若者支援の実践について伺いました。私たちが暮らす千葉県でも、いろいろな方面の方が子ども・若者の自立をサポートしていることを知りました。

地域の中で子ども・若者の成長や自立を見守っていくためにはどうしたらよいか、行政や学校任せではなく、それぞれができることを考え実行するためにはどうしたらよいか。当事者である若者の言葉に耳を傾けることで考えさせられた1日でした。

【発行・編集】

社会福祉法人 生活クラブ風の村
船橋市委託事業
船橋市「保健と福祉の総合相談窓口」さーくる (circle)
所在地 船橋市湊町2-12-4 湊町十二番館ビル4階 401号室
TEL 047-495-7111 FAX 047-435-7100
HP http://www.kazenomura.jp E-MAIL circle@kazenomura.jp
～あなたの尊厳を守ります。～



(K)

今年の夏は、比較的過ごしやすいい日が続いていて、体調なども崩されていません。今年度は4年に1度の祭典であるオリンピックピックが8月に開催され、9月にはパラリンピックが開催されます。毎日テレビの前で選手が全力で戦う姿を見て、感動を覚えると同時に、そこまでに至る努力に、日々の積み重ねの大切さを改めて実感しました。私自身も、多くの方のお役に立てるよう、日々の積み重ねを大事にし、これからも支援して参りたいと思っております。

編集後記